



▲伊藤市長(右)に寄付金を手渡す福山さん(左)と総支配人の渡邊誠さん

世界記憶遺産活用のために

チャリティー公演の収益金などを寄付

1月13日、大衆演劇「炭都」(弓削田)の関係者が市役所を訪れ、当劇場で行われた山本作兵衛氏の炭坑記録画などが世界記憶遺産に登録されたことを記念して行われたチャリティー公演の収益金の一部と、会場内に設置した募金箱に来場者から寄せられた約10万円を寄付しました。

この劇場は結婚式場として使用されていた会場を昨年9月に芝居の上演会場として改装。炭坑でにぎわった華やかな時代をイメージして「炭都」と名付けたそうです。

代表の福山幸正さんは「石炭・歴史博物館の運営に活用し、世界記憶遺産の保存などに役立てていただきたい」と話し、寄付金を伊藤信勝市長に手渡しました。

さらなる防火・防災に向けて

田川市消防出初め式

1月15日、田川市市民球場駐車場で消防出初め式が行われ、消防団員や消防署員など約240人が参加し、今年1年の決意を新たにしました。

団員や消防車両による分列行進を行った後、第1支団の後藤寺地区隊、第2支団の金川地区隊が通常点検の演技を実施。日ごろの訓練の成果などを披露しました。

その後、永年勤続功労者、優良団員などの表彰に引き続き、大澤俊朗団長が訓示。昨年発生した東日本大震災に触れ「まずは自分の身を守ることが他人を救うことにつながる。日ごろの実践と経験が大きな力になる。地域の特性を熟知し、市民の生命と財産を守りましょう」と述べました。



▲祝賀放水も披露されました



▲救命胴衣を着てみたよ

飛行機カッコイイね!

後藤寺小学校で出張航空教室

1月18日、後藤寺小学校で日本航空(株)による出張航空教室が開催され、5年生児童52人が参加しました。

航空教室では、客室乗務員の船戸加奈子さんが客室乗務員の仕事内容を紹介。おじぎの種類ややり方などの教えを受けた児童たちは、お互いに向き合って練習しました。その後、整備士の松井伸夫さんが、飛行機の構造やつくり方、機体が飛ぶ仕組みなどを説明し、スクリーンに映し出された飛行機の大きさなどには驚きの声が上がりました。

参加した中本琉聖くんは「飛行機をつくることは難しいと思ったけど、つくってみたい。客室乗務員さんも整備士さんもとても格好良かったです」と笑顔で話しました。